

LIBRARY



11月も半ば過ぎ。またまた期末テストが近づいてきました。特に3年生は中学最後のテストとあって、気が抜けないかもしれませんが、だからこそこころとからだのバランスをとってくださいね。

『笹森くんのスカート』 神戸遥真著 講談社 2022



二学期初日、うだるような暑さのなか教室にたどりついたばくはいつもと違う空気を感じた。教室の前方で会話をかわすコミカ高めの陽キャラ集団、その一人、高森くんがなんとスカートをはいているではないか！ばくは二度瞬きをしてしまった。なんだ、これは何かの罰ゲームなのか…？ 確かにうちの学校もこの4月からジェンダーフリー制度とやらを制服に導入したのだが…。

ここからいったいどんな話が展開するのか！気になる人は読んでね。

『パンに書かれた言葉』 朽木洋著 小学館 2022



イタリア人の母と日本人の父を持つ私の名前は、光・S・エレオノーラ。突然の東日本大震災で、春休みを利用して両親と3人でいくはずだったイタリア行きは、私だけになった。震災の被害を映し出すテレビの前でぼんやり過ごす私に、母はイタリアの美味しいドルチェや懐かしい人たちの顔を思い出させた。そしてミラノ行きが決行。光は、初めて自分の名前に入っているSという文字の意味を知るのだった。著者がどうしても書きたかった！という熱い想いが込められた1冊。

『傲慢と善良』 辻村深月著 朝日文庫 2022



中学生向けの本ではないのですが、中3女子なら、面白く読めるかも。物語の出だしは婚約者真美の突然の失踪。残された架は、失踪前に聞かされていたストーリーの存在から、警察に捜査を依頼するも、状況証拠から事件性は極めて薄く、当人の意思で姿を消したのでは…と告げられる。架は、1人で真美を知る人たちに接触し、真美の行方を必死で探すのだが…。なんとこの物語は読者を意外な方向に連れ出します。幼い頃から親の言いつけを守り、いい子であり続けた女性が30代を迎えた時、何を思うのか。第二部は真美の視点から真相が語られ、そして結末に。辻村さんらしい問題作！

『あなたの教室』 コロンバニ著 早川書房 2022



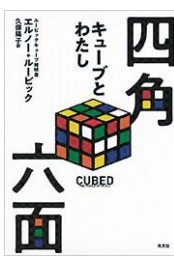
教師の仕事は愛してはいたが、傷つき疲れ果てたレナは、インドに旅立つ。ところが海で溺れかけ、レナはひとりの少女に命を救われる。レナは少女とコミュニケーションをとろうとして気づく。少女が読み書きができないことを。インドでは子どもは重要な働き手であった。ましてや女の子に学問は不要と大人たちの多くが考えていた。レナは少女に読み書きを教えたかったが、少女の両親に訴えても、「ガール・ノー・スクール」とつれない返事。インドではいまだダリッドと呼ばれる不可触賤民たちは酷い差別を受ける。ダリッドの女性はさらにその下に位置付けられ、強姦されても訴える術を持たない。レナはダリッドの女の子のための学校を作りたいと考えるが…。

『運動脳』 アンデッシュ・ハンセン著 サンマーク出版 2022



『スマホ脳』の著者の最新作。脳に効くエクササイズは、「体を動かすこと」だと言う。この本を読んでもこれまでのライフスタイルを改善し、心の常態も認知脳も向上した人たちから感謝のメールが著者のもとにも届いているようだ。適度な勉強、適度な運動、文武両道を目指すことは理に合っているのですね。「よく遊び、良く学べ」と昔から言われているし。「脳を操作しているのは私たちであって、脳が私たちを操作しているわけではない。」という言葉に納得。

『四角六面キューブとわたし』 エルノー・キュービック著 光文社



世中図書館のカウンターに3個のルービックキューブがあるのは皆さんご存じですか？篠塚先生からの提案で入れたのですが、これがなかなかの人気です。いつも誰かしらがクルクル動かし六面をあっという間に同じ色にしています。そんなルービックキューブを生み出した人の自伝です。書くのも嫌いで記憶力もよくないそうなのに、よくぞ書いてくれました！まえがきとあとがきは、エルノーによって見出された「キューブ」が書いています。

『映画を早送りで見ると』 稲田豊史著 光文社新書 2022



いまやあらゆるコンテンツが、スマホやPCで好きな時間に視聴できる時代です。見逃して残念…ではなく、見逃していたから見てみるか…ができるために、気になるものをチェックする時間が増えていますか？でも一日は24時間。仕事のために倍速で見ていた映画を、あるときちゃんと観たら、まったく印象が変わっていたという体験を持つ著者だが、批判的に書くのではなく、早送りせざるを得ない時代に切り込んだ1冊。

『チャンス』 ユリ・シュルビッツ著 原田勝訳 小学館 2022



『よあけ』『ゆき』『おとうさんのちず』など世中の図書館にもある絵本の作者、シュルビッツの自伝が出版されました。ワルシャワ生まれのシュルビッツがわずか4歳の時に、第二次世界大戦が始まりました。生まれた時から絵を描くことが大好きな子でしたが、ナチスによるユダヤ人迫害を逃れ、家族3人で当時のソ連に。しかしそこに待っていたのは身も凍る寒さと耐え難い飢え。さらには北極圏に近い収容所暮らしを経て、中央アジアへ。戦後はポーランドからパリに。辛い出来事が多い時代を描いているのですが、少年の視点で語られた文体と、豊富な挿絵がページをめくる手を止めさせない素晴らしい一冊です。

『クジラが歩いていたら』 ディクソン作 ベイリー絵 化学同人



クジラの大きさをしみじみ考えたことがないのですが、この本によれば、なんと重さ1トンの心臓を持っているそうです。その動脈は人が泳げるとか、信じられないレベル。そんなクジラも最初に陸に上がった時は、80cm~3メートルぐらいの生き物だったそうだ。それが再び水の中で暮らすようになって、どんどん巨大化していく。クジラの骨格を見ると、退化した骨盤と後肢が確認できるそうですよ。進化の過程って、実に興味深いですね。

10月、11月にはいった本の一部です。リクエストは常時受け付けています。

登録番号	NDC	書名 1	著者名 1	出版者	出版年
038665	159C	完訳7つの習慣	Rコヴィー 著	FGE 出版	2020/10
038686	281A	生きのびるための「失敗」入門	雨宮処凛 著	河出書房新社	2022/01
038694	289S	元女子高生、パパになる	杉山文野 著	文藝春秋	2020/11
038701	304T	オードリー・タン自由への手紙	タン 語り	講談社	2020/11
038708	367H	女の子の心と体ノート	保健師めぐみ	ナツメ社	2018/08
038702	369E	わたしが障害者じゃなくなる日	海老原宏美 著	旬報社	2019/06
038743	369T	ヒトはそれを『発達障害』と名づけました	ダックス 著	金子書房	2022/10
038690	383U	食べかた上手だった日本人	魚柄仁之助 著	岩波書店	2015/08
038654	387Y	日本の鬼図鑑	八木透 監修	青幻舎	2021/12
038151	388A	日本の妖怪伝説大事典	朝里樹 著	新星出版社	2022/07
038775	407M	理系研究者の「実験メシ」	松尾佑一 著	光文社	2021/05
038754	452M	海について知っておくべき100のこと	マーティン	小学館	2021/08
038748	467A	ゲノム編集の光と闇	青野由利 著	筑摩書房	2019/02
038747	467N	ゲノム編集の衝撃	NHK取材班 著	NHK出版	2016/07
038780	498I	遺伝子が喜ぶ「奇跡の令和食」	家森幸男 著	集英社インター	2021/05
038723	498I	今こそ知りたい「賞味期限」の新常識	井出留美 監修	宝島社	2019/09
038670	498I	「健康に良い」はウソだらけ	稲島司 著	新星出版社	2018/03
038761	498K	ひと目でわかる食べ物のしくみとはたらき図鑑	北村真理	創元社	2019/01
038715	498K	食	John Krebs 著	丸善出版	2015/06
038749	498M	ゲノム編集食品が変える食の未来	松永和紀 著	ウェッジ	2020/11
038746	498U	食品添加物はなぜ嫌われるのか	畝山智香子 著	化学同人	2020/06
038750	498W	食品買うなら、コレがいちばん!	渡辺雄二 著	日本文芸社	2017/08
038667	517H	人がつくった川・荒川	長谷川敦 著	旬報社	2022/08
038706	517I	図解でわかる14歳からの水と環境問題	インフォグラフィック	太田出版	2020/04
038752	518R	ごみ	レイド文・絵	西村書店	2022/09
038721	519I	追いつめられる海	井田徹治 著	岩波書店	2020/04
038689	519N	大量廃棄社会	仲村和代 著	光文社	2019/04
038744	596D	捨てないレシピ	土居純一 著	ぴあ株式会	2022/07
038758	596E	歴メシ!	遠藤雅司	柏書房	2017/08
038700	596O	未来食	大谷ゆみこ	ブレーン	
038692	611R	世界食料危機	阮蔚 著	日経BP	2022/09
038730	611Y	日本が飢える!	山下一仁 著	幻冬舎	2022/07
038710	611Y	SDGs時代の食・環境問題入門	吉積巳貴	昭和堂	2021/10
038716	614S	2030年のフード&アグリテック	佐藤光泰	同文館出版	2020/03
038711	615Y	食卓の危機	安田節子 著	三和書籍	2020/10
038709	626T	野菜と果物すごい品種図鑑	竹下大学 著	エクスレッジ	2022/07
038713	648I	肉食の終わり	リース 著	原書房	2021/11
038714	661K	魚が食べられなくなる日	勝川俊雄 著	小学館	2016/08
038724	661T	ファーストペンギン	坪内知佳 著	講談社	2022/10
038719	662M	海の森づくり	松田恵明 著	緑書房	2010/03
038703	740M	クジラと海とぼく	水口博也 文	アリス館	2010/09
038698	801K	翻訳はめぐる	金原瑞人		
038668	810K	日本語の大疑問	国立国語研究所	幻冬舎	2021/11

このほかにもたくさん本がはいたので、OPACで調べてみてくださいね。

こんなことやってます!



76回生 国語科「エッセイを読もう」



1年生は、図書館で様々なエッセイを読みました。30分ほどですが、ページをめくる音しか聞こえない静寂が図書館を席捲。気に入ったエッセイには出会えたかな? 私は山崎ナオコーラさんのエッセイが好きです。

74回生 家庭科「幼児と絵本」



11月に入り、こころ保育園の2歳児クラスから5歳児クラスの子もたちが世中に来てくれることに! お兄さんお姉さんたちは、子どもたちに読んであげたい絵本を選びました。

74回生 保健体育科「私たちの生活と環境問題」



保健体育では、SDGs的な視点から、環境問題と健康をテーマにレポートを作成中。自分が継続してできる環境と健康に貢献できること、見つかりましたか?